

みずほ総研フォーラム2018 基調報告資料

---

## 企業を取り巻く環境変化と持続成長への課題

2018.11.7

みずほ総合研究所

調査本部 理事・主席エコノミスト 矢野 和彦



---

## 目次

### 1. 企業を取り巻く環境認識

① グローバル経済の状況

② 競争環境・経営課題

③ 社会的規範による企業評価基準の変化

### 2. 高まるESG、SDGsへの関心

### 3. ESG投資を巡る問題点・課題

### 4. 本日の主な論点

---

# 1. 企業を取り巻く環境認識

## ① グローバル経済の状況

- 
- 世界経済は総じて堅調に拡大中
  - 米国がけん引役。米国経済は足元、絶好調
  - 欧州も政治面の不安はあるも、景気回復は持続
  - 中国経済は減速気味ながら、政策サポートを強める方針
  - 日本経済も回復基調。収益は過去最高、雇用環境は良好
  - 金融市場の目下の懸案
    - ① 米中貿易戦争の激化・不確実性増大と経済悪化
    - ② 米金利上昇等による資本市場混乱
- ⇒ 長期好況の終焉と債務調整の始まり・・・政策手詰まり

---

# 1. 企業を取り巻く環境認識

## ②競争環境・経営課題

---

## ○ 企業の競争力を左右する経営環境の大きな潮流変化

⇒ 技術革新の加速

… 第4次産業革命への対応、イノベーションのための投資

⇒ 無形資産や戦略投資への注目

… R&D、人的投資、ブランド戦略、M&A etc.

⇒ 国内人手不足の深刻化

… 人財の強化、省力化投資、働き方改革

⇒ 企業基盤の強化・再編の必要性

… 中長期ビジョン、事業ポートフォリオ再構築

---

# 1. 企業を取り巻く環境認識

## ③ 社会的規範による企業評価基準の変化

---

## ○ 「社会課題」解決への企業の役割期待の増大

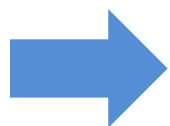
⇒ SDGs (持続可能な開発目標)、パリ協定、サーキュラー・エコノミー

⇒ 持続可能な国際社会の実現に向けた企業のマインドセット構築の必要性

## ○ ステークホルダーの価値観の変化

⇒ 消費者、従業員、取引先、地域社会、投資家(株主、債権者)、政府など、企業に関わる多様なステークホルダーの意識・価値観の変化への対応

⇒ 共通価値の創造：CSV (Creating Shared Value) by Michael E. Porter



**対応次第で、企業の持続成長にとっての  
「リスク」にも、「機会」にもなりうる**



---

## 2. 高まるESG、SDGsへの関心

---

## ○ ESG： 環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の頭文字

- －企業の持続的成長に影響を及ぼすとみなされる3要素
- －ESG投資においては、企業経営における「非財務情報」を重視
- －企業の戦略投資(無形資産、R&D等)のための長期安定的な資金調達にも貢献

- ・・・企業の事業戦略や内容、風土、ビジネスモデル、統治スタイルなどに問題があると、企業の成長、ひいては企業への投資家にとっても深刻な「リスク」になりうる(場合によっては存続不能に)との発想  
⇒ そうした企業への投資手控え
- ・・・昨今では、加えて、上記要素に優れた企業は、それが長期的な成長機会となり、投資家にも高いリターンをもたらすとの見方も  
⇒ 積極投資

---

○ 国連のPRI原則と投資家の参画がESG投資を後押し

－PRI: Principles for Responsible Investment (責任投資原則)



















- ・2006年にアナン国連事務総長(当時)が提唱
- ・機関投資家の投資決定プロセスに、受託者責任の範囲内でESGの観点を反映させるべきとしたガイドライン
- ・PRIに参画する機関投資家は年々増加、ESG投資の市場規模も拡大

○ 国連のSDGs採択で企業の取り組みにも拍車

－SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

- ・2015年の国連持続可能な開発サミットで150超の加盟国参加の下、全会一致で採択されたアジェンダにおける目標。17のゴールと、具体的な目標である169のターゲット設定

# SDGsに対応した企業の取り組み課題例 <みずほFG>

課題	<みずほ>の機会 とリスクにつながる社会のニーズ	関係する 主なSDGs
健全な 経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政健全化と地域活性化</li> <li>レジリエントなインフラ整備</li> <li>新技術活用やイノベーションを通じた生産性向上</li> </ul>	  
少子高齢化と 健康・長寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継・技術承継</li> <li>労働力の確保</li> <li>健康寿命の延伸</li> <li>個人の資産形成と世代間移転</li> <li>医療・介護費用拡大への対応</li> <li>必要なサービスへのアクセス確保</li> </ul>	  
イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術革新を活用したビジネスの革新・創造</li> <li>新技術やイノベーション企業の育成</li> <li>サイバー攻撃への対応</li> </ul>	
働きがいの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人々の活躍推進と働き方の改革</li> <li>環境変化を踏まえた人材育成</li> </ul>	  
エネルギーと 環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーの安定供給と環境保全</li> <li>脱炭素社会への移行対応</li> <li>生物多様性の保全</li> <li>食料の安定供給確保</li> </ul>	    
人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権への負の影響の防止・軽減</li> <li>包摂的な社会づくり</li> <li>マネー・ローンダリングやテロ資金供与等の防止</li> </ul>	 
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なステークホルダーとのオープンな連携・協働</li> </ul>	

(資料)みずほフィナンシャルグループ 統合報告書 ディスクロージャー誌 2018

---

### 3. ESG投資を巡る問題点・課題

- 
- ESG指数における評価の一貫性の欠如問題 (e.g. テスラ)
  - 足元のFacebook問題等に見るESG適格性の問題
  - 因果関係やパフォーマンス解釈の問題
  - 開示・対話環境の整備
  - E・SとGの関係
  - 一過性ブーム化回避 (e.g. “.com” 銘柄, “Blockchain” 銘柄)

## 4. 本日の主な論点

---

### 内外経済を取り巻く環境変化と日本企業の対応

- ・ グローバル経済、金融市場等の展望
- ・ 今後の諸リスクへの企業の備え

### ESG、SDGsへの日本企業と投資家の対応と課題

- ・ 持続的成長に向けた具体的な取り組み課題や事例
- ・ 人づくり革命、働き方改革の進め方
- ・ コーポレート・ガバナンスのあり方、改革の進め方

---

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。